

2019年度

自己点検・自己評価
報告書

平成31年4月～令和2年3月

富山国際大学子ども育成学部

1. 概 要

1. 実績と現状

(1) 学部理念・目標の達成

富山国際大学は、「時代の潮流に対応できる健全にして個性豊かな人材を育成して、国際社会及び地域社会の発展に寄与する」ことを基本理念としている。2009(平成 21)年 4 月 呉羽キャンパスに、少子高齢化時代における地域課題の解決に取り組む人材の育成を通して、地域社会に貢献することを目的として、子ども育成学部を設置した。

子ども育成学部が目指す人材像は、教育的愛情と子どもの福祉への献身、専門的な知識・技術と豊かな人間性を併せもち、一人一人の子どもの発達を理解し、主体的な活動を促す環境を整えて、子どもの生活・学習・発達を支援していく、資質の高い実践的能力を備えた子ども育成の専門家である。

学部開設 11 年目の 2019 年度は、学生総数 399 名(定員充足率 114.0%)の学生数になり、総定員を充足して 5 年目になる。2019 年度の新入生は 99 名であり、定員超過率 110.0%であった。

令和 2 年 3 月末には、第 1～7 期生に続いて第 8 期生 92 名が就職・進学など学部での学びを生かして、それぞれの新しい人生を歩み始め、卒業生累計は 675 名となった。

卒業生の成果は、県内の保育・教育・福祉関係者の注目を集め、高等学校・受験生・保護者の期待と評価も次第に高まっている。高い進学ニーズともっと人材を輩出して欲しいという地元のニーズに応えるため入学定員を 90 名(教職課程の定員は 90 名、保育士課程の定員は 80 名)にして 2 年目となった。

令和 2 年度入試志願者数は、276 名(定員 90 名の 3.06 倍)となり、普通科単独校からの志願も増加して、受験生の質も向上した。

3 年次編入生も 4 名(定員充足率 80%)であった。富山短大福祉学科からの編入生が 3 名おり、これからも学園内連携を推進していきたい。また、現代社会学部から初めて転学生 1 名であった。

(2) 教育課程・授業の展開及び教員組織

教育職員免許法の改正及び教育職員免許法施行規則の改正に伴い、平成 31 年 4 月 1 日より新たな教職課程の運用を始めた。また、児童福祉法施行規則第 6 条の 2 第 1 項第 3 号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法の一部改正に伴い、平成 31 年 4 月 1 日より新たな保育士養成課程の運用を始めた。しかし、内容が重なる科目などがあり、質の高い学習に向けて見直しを行い、令和 3 年度の保育士養成課程の適用に向けて準備を進めた。

教員組織では、専任教員 20 名と事務組織に変更はなかった。保育・教育・福祉の教員が揃った中で、工夫改善された 3 分野の教育が行われた。

また、学生による授業アンケートは、例年どおり前期・後期の 2 回実施した。特に、web による全教科において実施し、各教員の授業改善に生かしてきた。幼稚園・小学校教員免許取得希望者を対象にした「教職課程履修カルテ」及び「チェックリスト」を活用し、教

職を目指す学生への指導も実施した。各分野の学外実習の事前・事後指導と実習報告会、卒業研究の中間発表と卒業研究発表会なども、それぞれ改善・充実を図ってきた。

(3) 学生生活支援・家庭との連絡

校舎等施設利用のあり方など、学生生活をめぐる要望に応え、キャンパスアメニティを向上させるため、学生代表との懇談会(2回実施)や学友会(全員加入制)との連携にも引き続き努めた。

学生指導では、適応支援チームを中心に、ゼミ担任・科目担当をはじめカウンセラーなどとも連携しながら、相談支援に努めた。

家庭に向けた学部通信「保護者の皆様へ」(第21報・第22報)の配布、年2回の保護者相談会(6/22(土)、10/19(土))のほか、学生生活や進路についても、適宜個別に家庭(保護者)との連絡を行い、問題が複雑・重篤なケースには、保護者来校による懇談・面接指導を行った。

また、富山国際大学同窓会「蒼昊会」の子ども育成学部支部の第6回ホームカミングデーに同窓生が参加した。小学校教育研究学会の第2回研究大会を令和2年2月24日(月：祝日)に予定していたが、新型コロナウイルスの感染予防のために中止となった。

(4) キャリア支援

キャリア支援については、「小学校教員採用10名、公立保育士採用10名、社会福祉士国家試験合格10名」を目標に、キャリア支援入門講座や支援講座を実施し、キャリア支援担当参事・事務室・分野担当教員・ゼミ担任の連携などにより、強化・充実を図った。

最終的には、卒業生総数92名に対して「小学校教員試験合格42(既卒者15含む)、公立保育士採用18名、社会福祉士国家試験合格18名(既卒者0名含む)」の成果を上げることができた。どの分野も、目標値の2倍近い成果をあげた。臨時採用も含めた分野別進路については、「小学校分野29名(前年度38)、保育・幼児教育分野27名(前年度27)、社会福祉分野16名(前年度12)、教育系大学院等進学5名(前年度3)、公務・警察3名(前年度5)、企業10名(前年度10)、その他2名(前年度0)であり、卒業生の約8割が専門分野または関連分野に進んだことになる。今年も小学校分野に進んだ人数が、保育・幼児教育分野を上回り、この傾向は続くと予想される。また、社会福祉士国家試験の合格率は66.7%(現役合格率は90.0%)で、全国の平均合格率29.3%を大きく超え、全国の第15位、私立大学の中では4位を達成した。

(5) 研 究

教員の研究活動では、文科省学術研究助成基金(科研費)助成研究2件(前年度1)、(財)富山第一銀行奨学財団研究助成2件(前年度2)などの外部資金を活用した研究に取り組むとともに、研究紀要「子ども育成学部紀要」第11巻9件(前年度11)を発刊した。また、学内教員相互の研究交流のための研究交流サロンも1回(前年度1)開催した。

(6) 地域交流・貢献活動

「子ども育成研究交流センター」の活動として、子ども育成学部創立10周年記念フォ

ーラムとして子ども育成に関するフォーラムの開催(1回)とニュースレター「子ども育成研究」の発行(1回)、高校及び地域団体等からの要請に対応した出講プログラム 80 件(高校 26、地域 54、教育・福祉・保育現場や団体・行政などからの要請に対応した各種審議会・委員会の委員、講演会・研修会講師、現場実践研究への支援活動など、多様な地域貢献に取り組んだ。

(7)大学改革・教育改革への取組み

全学的な取組みの中で、文科省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+事業)の参加校として採択されたことに伴い、本学が申請していた「地域課題探求型学習を核としたとやま地域創生人材育成プログラム」として平成 31 年度までの 5 年間、「地(知)の拠点大学」として認定された。

学部運営体制としては、学部連絡調整会議の開催(1回)及び学部運営委員会の開催(1回)を精選した。また、各委員会の開催を通して、教職員の目的と情報の共有に努め、教育指導・実習指導・学生指導など学部運営の充実を図った。

今後も、学部自身の責任と自主的な改革により、地域と時代のニーズに対応した教育・研究・社会貢献活動を展開していく必要がある。

2. 課題

(1)第 9 期生の高い就職・進学実績の実現

第 1～8 期生の就職・進学実績は、関係者の間で注目・評価されたとはいえ、その成果に安住してはいけない。9 期生は、小学校、保育・幼児教育、社会福祉の各分野で、目標をより高く掲げて、過去 8 年間の水準を上回る成果を目指していかなければならない。社会福祉士国家試験で、卒業生は 7 名受験し合格 0 名であった。今後も、卒業生への支援に取り組まなければならない。

(2)学部総定員(収容定員)の確保に対応した教育の質の向上

平成 31 年度の定員超過率 110.0%であったため、今後、定員超過率 130%を超えないようにするとともに、100 名前後を入学させる定数管理を行いたい。また、学園全体の改革を見据え、2 年後には、定員(370 名)充足率を平均 1.15 未満になるよう定員管理を行わなければならない。

年度	H31	H30	H29	H28	平均
入学定員(人)	90	90	80	80	85.0
入学者数(人)	99	91	116	89	98.8
入学定員 超過率	1.10	1.01	1.45	1.11	1.16

令和 2 年度においては、学生定員の確保(総定員の充足)を維持することができなかった。国立大学が補欠合格を出した影響で、辞退者が 24 名と多かった。そのため、歩留率が低くなり定員より 1 名足りない入学者になった。今後は、第 11 期生への教育の質の向上に向けたきめの細かい指導の継続、高いレベルと考えられている第 9・10・11 期生に対する教育・指導の充実など教育の質のより一層の向上が課題である。

2. 現 況

1. 学生の状況（令和2年3月31日現在）

	在籍者数	内訳 (1)	内訳 (2) 出身県								
		男：女	富山	新潟	石川	福井	岐阜	滋賀	静岡	茨城	神奈川県
1年生(定員 90 名)	99 名	16：83	93	2	1	1		1	1		
2年生(定員 90 名)	91 名	15：76	90	1							
3年生(定員 85 名)	115 名	22：93	112		2	1					
4年生(定員 85 名)	92 名	22：70	86	5	1						
計 (定員 350 名)	397 名	75：322	381	8	4	2		1	1		

（参考）平成27～令和元年度入試の状況

	募集人員	志願者	合格者	入学者	備 考
元年度入試	90名	270	197	99	推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型
3年次編入学	5名	5	3	3	3年次編入学
30年度入試	90名	247	177	91	推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型
3年次編入学	5名	4	4	4	3年次編入学
29年度入試	80名	265	195	116	推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型
3年次編入学	5名	4	4	4	3年次編入学
28年度入試	80名	229	188	89	推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型
3年次編入学	5名	6	4	4	3年次編入学
27年度入試	80名	259	174	94	推薦・一般・特別奨学生・センター試験利用型
3年次編入学	5名	8	6	6	3年次編入学

2. 教員組織（令和元年度）

区 分	人数	内 訳
子ども育成学部専任教員	20名	教授10 准教授6 講師4
学園内教員（兼担・兼任）	10名	現代社会学部3 富山短大7
学園外教員（非常勤講師）	34名	
計	64名	

3. 呉羽キャンパス事務室（令和元年度）

区 分	人数	内 訳
専任事務職員	3名	事務長1 主査2
兼任職員（短大）	2名	図書館1 健康管理センター1
契約職員	2名	参事（キャリア支援担当）1 職員1
計	7名	

3. 教育課程

1. 実績と現状

(1) 新規の取組み

① 転学部実施要項の整備ならびに転学部審査の実施

現代社会学部 2 年次生の 1 名から子ども育成学部 3 年次への転学部希望が出されたことにともない、これまで本学において未整備であった転学部に関する規程、転学部実施要項、応募書類、審査基準等々の整備を子ども育成学部学務委員会において行った。その結果、規程の他に、規程細則、志望理由書、推薦書等の書類を整備した。また他大学の事例や規程を参考に、審査料を徴収することとした。

② 富山労働局の出前講座の開講（後期オリエンテーションとの関連）

富山労働局から講師を招いての出前講座について、就職活動を開始する前の 3 年生を対象に実施することとなり、その実施時期や内容等について検討を行った。9 月 27 日(金)の後期オリエンテーション終了後の 14:40～15:40 に C301 教室で実施することとなった。事後の結果として、求人票の見方について専門的観点からの指導等、意義が大きいとの反響があった。

③ 2019 年度卒業研究発表会の実施方法の変更

「卒業研究発表会の変更案」について検討を行い、学生数の増加に鑑み、発表時間、会場数の問題によりこれまでのような全員発表の形式が困難となっているため、発表形式を変えることとなった。①現状維持型 ②ゼミ発表+ゼミ代表発表会等々の、諸案を検討した結果、発表会は学生主体に行うものとし、座長は学生が担うこと等に変更した。今年度は 4 月以来、12 月末までに論文を出し、続いて抄録を出すという一連の手続きに沿って論文作成が進められているので、発表形式を変更することは、本年度は行わないこととし、座長、会場運営を学生に任せることとした。また今後の学生数の増加に対応するため、会場（教室）数を増やして、1 会場当たりの発表者数を減少させて、半日で終了することになった。

④ 履修カルテによる学生の履修指導の改善

従来からの長年の懸案であった、履修カルテの整備が小学校、幼稚園免許取得希望者だけに限定されていて、それ以外の分野の学生の履修に関する学期ごとの振り返りの機会と指導が残されていたという長年の課題について、「学期ごとの振り返りシート」のフォーマットに学生に記述させて履修指導することになった。ただ、履修カルテに記入する場合（小学校、幼稚園免許取得希望者）は必要なく、「学期ごとの振り返りシート」のフォーマットには「履修カルテに記入の通り」と書いて指導することとした。

(2) 教育指導

① 授業科目の履修指導・前後期末試験・再試験の実施

② 教養演習：(1・2 年共通) 初年次教育（平成 31 年 4 月）リテラシーガイダンス(平成 31 年 4～令和 1 年 5 月)、ゼミ別活動合同発表会(令和 1 年 7 月)、個人研究ゼミ発表(令和 1 年 10 月～令和 2 年 1 月)

③ 卒業研究：(3 年) 中間発表（令和 1 年 10/19～11/1） (4 年) 卒業研究発表会(令和 2 年 2/8)

④ 地域社会参加活動：(1 年) 20 時間以上の地域活動体験、活動報告会、活動報告集

⑤ 学外施設等を利用した授業：

授業科目	開講時期	利用施設等	実施日
世界の言語と文化	2 年後期	CiC（富山市国際交流フェスティバル開催時）富山国際学園サテライトオフィス～富山国際大学学生およびエクステンション英語講座受講社会人による発表に参加	R1. 11/10(日)
日本の動き	1 年前期	北日本新聞越中座	R1. 5/23(木)
地域社会参加活動	1 年通年	県総合運動公園陸上競技場(障害者スポーツ大会)	R1. 5/19(日)
自然体験活動	1 年通年	富山市ファミリーパーク	R1. 6/19(水)
〃	〃	富山県呉羽青少年自然の家	R1. 10/16(水)
〃	〃	富山県中央植物園	R1. 11/13,11/20(水)
〃	〃	富山県呉羽青少年自然の家	R2. 1/17(金)
保育内容（環境）	2 年前期	富山市・射水市の公園	R1. 4/15(月)～5/8(水)
人間と環境	2 年前期	野鳥の園（富山市三熊）、自然博物館ねいの里	R1. 5/12(日)
〃	〃	魚津水族館、埋没林博物館	R1. 6/15(土)
〃	〃	氷見海浜植物園、雨晴海岸	R1. 7/6 (木)
教養演習	1～2 年通年	松山ゼミ（1・2 年）ますの寿し「源」本社工場	R1.6.15(土)
〃	〃	松山ゼミ（3 年）石川動物園、石川県立昆虫博物館	R1.8.26(水)
〃	〃	松山ゼミ（4 年）大阪市立大空小学校	R1. 9/8(日),9(月)
〃	〃	松山ゼミ（4 年）伊勢神宮、信楽	R2. 2/10,11

⑥ 授業改善の取組み：授業アンケートの実施（前・後期末 2 回）

⑦ 平成 31 年度「入学前オリエンテーション」の実施（平成 30 年 12 月 呉羽キャンパス）
[推薦入学予定者 19 名、3 年次編入生 3 名]

2. 課題等

（1）教養演習の運営方法、活動内容

1 年次のゼミ配属については、出身高校が重ならないこと、また男子学生が 1 名だけにならないよう配慮した。2 年生については、1 年次の教員・学生と重ならないこと、また、病気や欠席等配慮を要する学生が一部のゼミに偏らないようにした。

前期の教養演習では、第 2 回目にオリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会を行った。第 3 回目において、「初年次教育」として学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1 年生全員）を実施した。また、第 4 回目には、「リテラシーガイダンス 2」として、「守秘義務について」（彼谷教授）、「調査研究の基礎」（大平准教授）、「自校教育」（大藪教授）（1 年生全員）について、各教員から講義を受けた。前期は、ゼミごとに調査・探求を行い、7/24（水）に「ゼミ別活動合同発表会」を行った。

後期、グローバル化社会に向けた教養教育の一環として「海外体験発表会」を行った。現代社会学部の交換留学生 2 名（中国・韓国）の日本での体験と、子ども育成学部から海外研修に行った 5 名（中国異文化研修、デンマーク研修、カナダ異文化研修、マルタ留学）及び教員（金

子講師)の海外体験の報告があった。後期は、個人研究を中心に行った。

(2) 卒業研究の運営方法、活動内容

卒業研究発表会の開催については、今回3年生が運営主体となったことで、学生による自主的自律的な運営を実施することができた。

なお、発表会の開催方法としては、従来2月中の土曜を終日活用していたが、次年度の発表者数が116人と増えることや、例年拘束時間が長時間に及ぶため参加者に負担がかかっていたことに鑑み、会場数を4室から7室に増やして、午前で終了するよう工夫した。

次年度もこの方法を踏襲しつつ、平日開催を目指して準備する。

(3) 海外留学～「インターナショナルプログラムズ(短期)」「同(長期)」の実施

2019年度は「インターナショナルプログラムズ(短期)」及び「同プログラム(長期)」に参加した学生はいなかった。英語学習に特に消極的な新入生が入ってきたわけではなく、加えて例年1～2名の参加者に留まっているため、大きく問題にする必要はないと思われるが、今後も1～2名、あるいはそれ以上の参加者が出てくることを期待したい。2018年度に「インターナショナルプログラムズ(短期)」でマルタに留学した学生は、引き続き英語力強化の努力を続けており、2019年度にはTOEICが700点を超え、本人の念願だった英検準1級の合格も果たした。小学校教育の分野に進むようなので、英語のできる小学校教師として活躍してほしいものである。

(4) 海外研修～「異文化研修」その他

子ども育成学部開講の「カナダ異文化研修」には子ども育成学部から9名参加した。2018年度と同様に、水曜日に現地入りし木曜日から翌週の金曜日までの7日間レスブリッジ大学に通学するスケジュールを組んでもらった。2020年3月初旬から中旬にかけての2週間のプログラムである。特筆すべきはCOVID19の感染拡大による影響である。富山でも派遣先であるレスブリッジ市にも感染者がいない段階での派遣だったので、保護者の意向も汲みつつ実施を最終決定したが、危機的な状況認識が高まっていた時期であり、レスブリッジ大学の研修の中で保育所見学が中止となり、さらに最終日にはアルバータ州の方針で大学生の登校が禁止され、修了式にはホストファミリーやお世話になったカナダ人学生を招くことができない等の影響が出た。渡航から帰国まで全期間を通して参加学生がよく衛生に気をつけるようにし、帰国後はしばらく自宅待機をさせた。結果、特に体調を崩す学生もなく、無事に研修を終えることができた。学生達の感想を読む機会が何度もあったが、いずれも異文化の中で貴重な学びや交流を体験できたようだ。なお、国際的な問題の発生により渡航中止とする場合に備えて、2019年度から導入したものが二つある。ひとつは「キャンセルサポート保険」への加入であり、もうひとつは大学が派遣中止とした場合に大学が学生達のキャンセル料の一部を負担するという対処法である。後者は2019年度に本学で初めて実施され、ボルネオ研修に適用された。

現代社会学部で開講されているものでは、夏休みに「中国異文化研修」に2名、「デンマーク研修」に2名、「マルタ研修」に2名が参加した。いずれも合同教養演習で体験談を話す機会を設け、1～2年生の関心が高まるようにした。春休みには、カナダでの「海外インターシップ」に1名参加した。同時期のカナダ異文化研修と異なり大都市での研修であったため、COVID19の状況が案じられたが、帰国後2週間の自宅待機のアと特に体調に変化はなく、研修中も帰国後も元気に過ごしていた。これらの他に、夏休みと春休みの「韓国異文化研修」に各2名、春休みの「ボルネオ研修」に1名が参加を希望していたが、大学で中止が決定されたため参加ができなかった。

4. 実 習

1. 実績と現状

(1) 実習の取り組み状況

- ①「幼稚園教育実習Ⅰ」：9カ所29名（R元.11）、報告会（R元.12）
- ②「幼稚園教育実習Ⅱ」：35カ所37名（R元.9）、報告会（R元.12）
- ③「保育所実習Ⅰ」46カ所51名（R元.9）、報告会（R元.10）
- ④「保育所実習Ⅱ」43カ所46名（R元.6）、報告会（R元.9）
- ⑤「施設実習Ⅰ」：25カ所50名（R1.11.11～11.22）、報告会（R2.1.22）
- ⑥「施設実習Ⅱ」：6カ所7名（R元.6）、報告会（R元.9）
- ⑦「小学校教育実習」：52カ所70名（R元.9）、報告会（R2.1）
- ⑧「介護等体験」（小学校教員免許関連）：社会福祉施設41ヶ所（5日間）+特別支援学校12カ所（2日間）71名（R元.6～R2.11）、報告会（R2.1）
- ⑨「相談援助実習Ⅰ・Ⅱ」：14カ所22名（R元.2～3）、報告会（2020.5月予定）
- ⑩「スクールソーシャルワーク実習」：小・高各1カ所・生活保護受給世帯：5世帯5名（R元.4～R2.1）、報告会（R元.2）
- ⑪「富山に学ぶインターンシップⅠ」：10カ所18名（R1.6～12）、報告会（R2.1）
- ⑫「富山に学ぶインターンシップⅡ」：20カ所23名（R1.6～12）、報告会（R2.1）

(2) 実習指導センター会議の開催

実習指導センター会議を8/9、10/11、3/11、3/30に開催し、実習履修要件抵触者の検討及び対応・経過を確認するとともに、各実習の課題等を協議した。

- ・履修延期者：保育所実習Ⅰ（2名）※ゼミ担任や保育者養成課程委員会と連携して、今後について個別指導を行った。※1名は進路を変更、他1名は資格取得を断念し退学した。
- ・実習不合格者：施設実習Ⅰで不可となった学生1名、また、保育所実習Ⅰで不可となった学生1名については、それぞれゼミ担任や保育者養成課程委員会と連携して、今後について個別指導を行った。
- ・幼稚園教育実習Ⅱ（1名） 母親から電話があり実習直前に体調不良。診断書提出。実習指導時は3回欠席3回補講。卒業時まで幼稚園免許状は取得せず保育者を目指す。

2. 課題

(1) 個別配慮を要する学生への対応

健康不安等、個別配慮を必要とする学生が増加傾向にあり、実習中に都合が悪くなるという例も見られた。保健室と連携を密にして学生の健康状況を把握することや、実習中に起きた問題点等は、教員相互が分野を超えて理解し合うことが必要になってきている。また、不適切な実習態度により、実習先より評価について相談を受けることもあった。学生に応じて、日頃の指導はもとより、実習指導ではより丁寧な対応が求められる。

(2) 入学者増に伴う実習先の確保

入学者増に伴う実習先の確保が難しくなっており、各分野で対策の検討を要する。

今年度は、3 年次の小学校教育実習（及び介護等体験）の履修学生が多く、実習先の確保や実習指導に配慮が必要であった。なお、幼稚園教育実習Ⅱ履修者増への対応についても、富山大学、富山短期大学、保育現場と何度も連絡を取り合い、実習先を確保した。前年度より、保育所から移行した幼保連携型認定こども園の確保を進めている。

(3) 実習指導センターの充実

専門職養成教育の質の維持・向上のためには、実習指導教員の連携や工夫に加えて、年間 11 実習に関する様々な書類作成や連絡調整等の業務を担う実習担当職員の配置が必要であり、今後も継続して要望していく。

5. 学生生活支援

1. 実績と現状

(1) 新規の取り組み

- ① 大学祭における地域の子どもたちが楽しめる企画を工夫。
- ② 大学祭の模擬店の内容の充実と食品衛生と安全対策に関する短大との連携の強化
- ③ 大学祭の学生主体の模擬店運営のための会計等のシステムの改善
- ④ 学友会主催の「七夕祭」「クリスマス会」「なごみ会」の工夫と地域のスマイルクラブのみなさんとの交流による内容の充実
- ⑤ 大学周辺の地域清掃活動(通年)の、学友会による学生のボランティア活動としての取り組みの定着と実施の工夫
- ⑥ 陸上競技サークルから部への昇格による、サークル活動の活性化
- ⑦ スポーツ文化交流会等の行事への参加の見直し、実行委員の選定、役割の確認

(2) 現状 (1=1年生、2=2年生、3=3年生、4=4年生)

- ① 学部交流会 (1234) アルビス小杉総合体育センター (R1.4)
- ② オリエンテーション交流合宿 (12) 国立能登青少年交流の家、(R1.4)
- ③ スポーツ文化交流会 (1234) 東黒牧キャンパス(運動系・文化系)、(R1.6)
- ④ 学友会の運営支援 (1234)
総会 (R1.4)、七夕祭 (R1.7)、オープンキャンパス (R1.7・8)、
クリスマス会 (R1.12)、音茶会「なごみ会」(R1.3)
- ⑤ 大学祭実行委員会の運営支援
- ⑥ 大学祭(第10回仁友祭)の開催 (R1.10)
テーマ:「スタート」
卒業研究中間発表(3)、卒業研究ゼミ紹介(4)、各実習紹介(1234)
各サークル企画イベント(1234)、模擬店(1234)
- ⑦ クラブ・サークル活動への支援(1234) 運動8・文化13 計21サークル
(運動系) 女子軟式野球(短大と合同)、SPORTY、ダンス、バスケットボール、
バドミントン、バレーボール、フットサル、陸上競技
(文化系) 吹奏楽部、アカペラ、イラスト、SSW・BBS研究会、書道、
Tuins English Club、TIES(富山国際大学小学校教育研究会)、
保育サークル～にこにこ～、学生団体MUL、茶道、軽音楽、
歩いて発見!となみ野サマーチャレンジ、I・C・S(R1.3現在)
- ⑧ 「夢への架け橋事業」への応募・実施(1234) 6件
ア 科学実験教室・自然体験ボランティア活動(助成額84,000円)
イ ちょっこ おいでま こども食堂キャンパス(助成額186,000円)
ウ T.F.C.S(助成額105,000円)
エ P.E.T.S(助成額100,000円)

オ 限界集落支援事業（助成額 80,000 円）

カ MUL ごと体験教室(助成額 25,000 円)

- ⑨ 富山国際学園関連施設（みどり野幼稚園、にながわ保育園）での継続的ボランティア活動の実施

保育サークルにここ （34）

- ⑩ 学友会との懇談会（学友会と教職員） 1 回実施（R1.12）

- ⑪ カウンセリング及び適応困難学生のための適応支援チーム：随時実施

- ⑫ 防災訓練（1234）（R1.9）

- ⑬ 交通安全講習会（1234）（R2.2）

2. 課題

（1）学生駐車場不足の問題

慢性的に、学生の駐車場については少ない状況が続いている。民間の駐車場の利用も含めようやく駐車可能な状況にある。さらに平成 29 年度末から始まったみどりの幼稚園の改築工事のため、厳しい状況が続いた。呉羽キャンパス全体的に短大、大学ともに駐車場不足が不足している。特に授業時間の関係で一時的に駐車できないこともある。慢性的な駐車場不足への対応が望まれる。

駐車許可証の発行については、正当な理由なく説明会に遅れた場合には配布しないこととなっているが、数名が期日に間に合わず、駐車許可証が発行されないケースがあった。また、複数回無許可の駐車があり同様に駐車許可証が発行されなかった。今後もこのルールは徹底するとともに、加えて駐車のマナーの徹底が求められる。

（2）学生駐輪場について

自転車通学の学生の駐輪場も不足してきている。

（3）学友会会計及び大学祭会計の改善

学友会会計を中心に学友会と大学祭の会計の費目の整理と統合、領収証等の整理及びファイリングなど改善に取り組んだ。平成 30 年度の予算からは根拠のある予算を立てることができ、学生によって執行及び決算を得る作業が行える環境が整った。学友会が予算を執行して自主的に運営することができるようになり、今年度はインカムを購入した。また、1 年間の活動を見通した予算の執行と総会資料への増減等の記入ができるようになった。

大学祭の模擬店運営について、平成 29 年度から各模擬店に会計担当者を設け、模擬店毎に適切な会計の処理を行うようにシステムを変更した。十分に機能し、適切に会計処理が行われた。会計が通常通り機能して、早く帰るとともに活動に積極的に参加できるようになった。今後は適正な会計処理を学び、社会に出ても活用できるようにすることが求められる。

（4）学友会による大学周辺の学外地域清掃活動

平成 27 年度から始まった大学：5、7、11、1 月、短大：3、6、10、12 月、高校：4、8、9、2 月、各月 3 回、計 12 回ずつの学外地域清掃活動については、その意義や行い方について学友会と相談した。学生のボランティア活動として位置付けるには無理があり新たな方法を模索したがまだ明確な決定がなされていない。学生、地域住民、学生課、付属高校、短期大楽との話し合いが必要であると考えている。

(5) 学友会の改善

学友会は本学の教育理念・目標等に基づき、健全な学校生活と学生相互間の親睦を図るために学生が組織していることを理解し、より多くの学生の参加を促してきた。大学祭をはじめ、「七夕祭」「クリスマス会」「なごみ会」などの学友会の企画では内容の充実が図られ、地域のスマイルクラブのみなさんとの合唱や話し合う時間を設けることで交流が深まった。また、数年前とは比べ物にならない程、参加者も増え、達成感のある活動になった。このように学友会が中心となって行事の工夫と改善に取り組み、すべての行事で1年生と2年生が協力して運営することができるようになった。今後はさらに学生の思いや願いを積極的に表現することや東黒牧キャンパスとの連携を深めることが課題である。

(6) 学生の支援体制について

ボランティア活動先でのトラブルがあった。学生の活動が広がることによって、トラブルが発生することは予測される。その対応、連絡、報告系統の明確な確率が必要であると考えている。

大学での人間関係や、忙しすぎる日常で、疲れが蓄積し、鬱傾向になる学生が見受けられている。安心して研究、学習に取り組める環境を提供できるように健康センターと連携し、対応していく必要がある。教員と学生課との連携が必要であると考えている。

6. キャリア（資格取得・就職）支援

1. 実績と現状

（１）キャリア支援計画

1年次から4年次までのキャリア関連講座（正規科目）を分野（小学校教育、保育・幼児教育、社会福祉、一般企業）ごとに立案・実施

キャリア入門講座（1年・後期）は、現場の専門家やOB・OGによる特別講義を開催した（**小学校分野(1/6)**・**保育分野(1/20)**・**社会福祉分野(12/23)**）。キャリア支援講座Ⅰ（2年・通年）、キャリア支援講座Ⅱ（3年・通年）、キャリア支援講座Ⅲ（4年・通年）では、分野ごとに異なる就職採用時期を前提とした決め細やかなシラバスを作成、実施した。

（２）就職状況の周知

学生は就職活動状況を、教員はゼミ生の就職状況を、定期的にキャリア支援センターに報告することとし、毎月の教授会等で全教員に進捗状況を周知した。活動終盤で進路変更する学生もあり、分野を超えた密な情報交換を心がけた。

（３）資格・免許希望調査

年度が改まる前に、全学生に対して、キャリア関連講座の分野希望及び資格・免許履修の確認をした（R2.3）。

（４）公務員・教員採用試験対策講座：新型コロナウイルス感染拡大防止に最新の注意を払い、連日キャリア委員間で対策見直しを図り、呉羽キャンパスにて6日間実施した（R2.3）

（５）模擬試験の実施

小学校教諭希望3年生対象（時事教育出版局：一般教養・教職教養 H31.6/11・専門科目 H31.6/18）及び（一般教養・教職教養 R1.11/19・専門科目 R1.11/26）、4年生対象（一般教養・教職教養 H31.4/15・専門科目 H31.4/22）

幼稚園教諭・保育士・保育教諭希望3年生対象（実務教育出版：一般教養・教職教養 R1.5/28、専門教養 R1.6/4）、4年生対象（一般教養・教職教養 H31.4/22、専門教養 R1.5/13）

社会福祉士希望 3,4 年生対象（中央法規 R1.8、日本社会福祉士会 R1.10、ウィネット R1.12）

（６）社会福祉分野の就職に関する懇談会

① 日時：令和2年2月26日（水）10:00～11:30

② 場所：富山国際大学呉羽キャンパス E 棟会議室

③ 参加者：社会福祉法人富山県呉西愛育会高岡愛育園清水康男園長、社会福祉法人射水福祉会いみず苑岸谷茂苑長、社会福祉法人戸出福祉会だいが苑野村幸伸施設長、社会福祉法人富山県社会福祉協議会古野智也地域福祉部長、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター山本浩二相談支援科長（外部招聘者計5名）富山国際大学子ども育成学部教職員（辻井学部長ほか教員6名、事務職員1名計7名）

（７）各分野の採用状況・採用試験問題等の整理

今年度の小学校教員・幼稚園教諭・保育士・保育教諭・社会福祉士の採用状況及び受験状況を各市町・事業所ごとにまとめ、面接・筆記試験等の内容を整理した。

（８）福祉のお仕事フェア in TOYAMA への参加

富山国際会議場にて、福祉・介護分野（R1.7/20）では4年生12名の学生が、児童分野（R1.7/21）では4年生11名、3年生9名の学生が参加した。その後、メール、葉書、電話での勧誘が頻繁だったため、来年度の参加の仕方を検討することとなった。

(9) 学内企業研究会への参加

東黒牧キャンパスで行われた「学内企業研究会」に、一般企業を希望する学生 8 名が参加した (R2.2/14、2/18)。

(10) 自主研修 (インターンシップ)

将来の進路に備え自主的に研修を行う「自主研修」の学年別内訳は、4 年生 (1 名)、3 年生 (延べ 26 名)、分野別では、保育分野は 3,4 年生 (延べ 28 名)、福祉分野 (3 名) であった。

(11) 「労働法セミナー」の開催

今年度初めて、3 年生を対象に、富山労働局による労働法セミナーを開催した (R1.9/27)。働くために必要な基礎知識と求人票の見方についての講義を受けた。

(12) その他

① 小学校で理科実験の準備や後片付け等を行う「観察実験アシスタント」には、学生の意欲的な参加がみられ、4 年生 (8 名)、3 年生 (11 名)、2 年生 (9 名)、1 年生 (16 名) の計 44 名が登録、延べ 57 名が勤務した。この事業については、各学校の認知度や学生に対する理解も深まり、将来のキャリアを選ぶ上で重要な活動となっている。

インターンシップ I では 3 年生 (9 名)、インターンシップでは 4 年生 (23 名) また、砺波市庄西中学校学習支援ボランティア (夏休み学習会)、高岡市中学校土曜学習支援員、射水市学力向上対策事業における学生ボランティア (射水市中学生学び応援塾) として活動した。

② 小学校で英語活動を支援する「英語学習パートナー」は、本学部から、朝日町に 1 名 (あさひ野)、立山町に 1 名 (利田)、射水市に 2 名 (片口、大島)、高岡市に 4 名 (伏木、西条、牧野、能町)、南砺市に 3 名 (福野、福光南部)、計 11 名を派遣した。

③ 保育分野では、呉羽キャンパス内におけるみどり幼稚園の保育サポーターは、前期は 3 年生 8 名、2 年生 2 名 (延べ 52 回)、後期は 4 年生 1 名、3 年生 8 名、2 年生 5 名参加 (延べ 106 回) で、前期後期とも参加した学生は 2 年生 2 名であった。にながわ保育園での保育サポーターは 2,3,4 年生延べ 29 名が参加した (にながわ保育サポーター 2 名、にながわ保育園お泊まり保育 1 名、堀川幼稚園お泊まり保育 6 名、障害者施設行事ボランティア 13 名 (四ツ葉園、雷鳥苑、つつじ苑、いみず苑、溪明園) の「納涼祭」「夏祭り」「苑 (園) 祭」など 6 回)、にながわ保育園の誕生会 29 名)。また、3 年生の保育現場における授業外学習 (実習指導の一環) については、延べ 70 名が体験した。

④ 社会福祉士国家試験に 20 名が受験し、18 名が合格した。

2. 課題

令和元年度は、年明けから新型コロナウイルス感染が拡大したことから、就職指導から採用試験まで一連の就職活動が「非接触型」に切り替えられた。遠隔授業システムやメール、電話等のツールを用い対応策を講じているが、学生のニーズや満足度に応えられているか、また内定獲得をどのように支援していけるか、日々情報交換し改善する必要がある。

保育分野は、新保育士養成課程実施に伴う保育系科目の増加に伴い、自主研修 (インターンシップ) に取り組む時間や形態について工夫が必要である。なお、次年度の就職懇談会については、保育分野が予定されているが、年度末に開催される県厚生部主催の懇談会との調整や、議論すべき内容について準備が必要である。

社会福祉分野では、例年どおりの対面での社会福祉士国家試験受験対策のトレーニングを実施することが困難な状況にある。全分野において、遠隔による試験指導は未経験であるため、個別指導や精神的なサポートに限界が生じることから、合格率に影響が生じる可能性がある。

令和元年度卒業生（92名）の進路状況（令和2年5月1日現在）

小学校教育分野 29 小学校教諭・講師	保育・幼児教育分野 27 保育士・幼稚園教諭	社会福祉分野 16 社会福祉士・相談員等
黒部市立生地小学校 黒部市立荻生小学校 黒部市立中央小学校 魚津市立清流小学校 滑川市立東加積小学校 富山市立池多小学校 富山市立五福小学校 富山市立上条小学校 富山市立長岡小学校 富山市立藤ノ木小学校 富山市立古里小学校 富山市立堀川南小学校 富山市立山室小学校 射水市立小杉小学校 射水市立太閤山小学校 高岡市立下関小学校 2 高岡市立成美小学校 高岡市立南条小学校 高岡市立福岡小学校 南砺市立福光南部小学校 糸魚川市立糸魚川小学校（新潟） 糸魚川市立能生小学校（新潟） 富山市立老田小学校 富山市立新庄北小学校 富山市立杉原小学校 富山市立豊田小学校 砺波市立出町小学校 石川県公立学校講師	入善町立にゅうぜん保育所 滑川市立あずま保育所 滑川市立坪川保育所 富山市立愛宕保育所 富山市立岩瀬保育所 富山市立大久保保育所 富山市立新庄保育所 富山市立雲雀ヶ丘保育所 富山市立古里保育所 富山市立堀川保育所 富山市立八尾保育所 射水市立塚原保育園 富山市立速星幼稚園 富山市立水橋幼稚園 富山市立 新保なかよし認定こども園 南砺市立 認定こども園井波にじいろ保育園 黒部市生地こども園（会計年度任用） 桜北町第一保育園（大阪） 富山認定こども園 幼保連携型認定こども園富山幼稚園 幼保連携型認定こども園 ちゅうりつお認定こども園 認定こども園本郷町保育園 4 富山市恵光学園 富山県立乳児院	〔県市町〕 富山県富山児童相談所 富山市役所（社会福祉士）4 大阪市役所 〔社会福祉協議会〕 富山県社会福祉協議会（事務） 〔障害者施設・事業〕 セーナー苑 新生苑 2 花椿きらめき/あおぞら 新川むつみ園 〔高齢者施設・事業〕 福岡地域包括支援センター 特別養護老人ホームこぶし園 〔病院〕 厚生連高岡病院 桜井病院 企業等 10 あいの風とやま鉄道㈱ ㈱廣貫堂 ㈱富山銀行 富山地方鉄道㈱ 日東メディック㈱ 菱越電機㈱ 北陸労働金庫 ホンダカーズ七尾中 ㈱ホンダ販売スギフジ ㈱ユニテ ㈱レクトル
公務員等 3	進 学 5	その他 2
氷見市職員 2 国立岩手山青少年交流の家	上越教育大学大学院 3 富山大学大学院 北陸ビジネス福祉専門学校	

■主な試験等の結果（既卒者含む）

富山県公立学校教員（小学校） 35名合格（うち既卒者11名）
 新潟県公立学校教員（小学校） 4名合格（うち既卒者1名）
 石川県公立学校教員（小学校） 2名合格（既卒者）
 千葉県公立学校教員（小学校） 1名合格（既卒者）
 富山県内市町村保育士 18名合格

■複数免許・資格の取得

(1) 1人当たりの法定免許・資格（小・幼・保・社（受験資格））取得数：

4種類＝3名 3種類＝36名 2種類＝27名 1種類＝26名

(2) 資格・免許取得のべ数：

* 小学校教諭一種免許状： 63名（68.5%）
 * 幼稚園教諭一種免許状： 62名（67.4%）
 * 保 育 士 資 格： 53名（57.6%）
 * 社会福祉士（国家試験受験資格）： 22名（23.9%） うち合格者18名（受験者20名）
 * 社会福祉主事任用資格： 91名（98.9%）
 * スクールソーシャルワーク教育課程修了： 5名（5.4%） うち認定者4名

7. 地域交流・貢献活動

1. 実績と現状

(1) 子ども育成学部創立10周年記念の第10回子ども育成フォーラムの開催

- ・テーマ：「学校ってなんだろう」

荻谷剛彦氏（オックスフォード大学教授）

- ・概要：第10回の子ども育成フォーラムでは、「学校とはなんだろう」という本質的なテーマについて、世界的な視野で教育社会学の立場から鋭い洞察と分析を続けておられる荻谷剛彦氏の講演を通して考え、日本における学校の存在意義を改めてとらえ直す機会となった。このフォーラムには大学教員や研究者、教育、保育、福祉関係者、学生、高校生、一般の参加者等、多様で多数の参加があるとともに、新潟、石川、福井、東京、広島等、県外からも多くの参加者があった。荻谷氏の優れた視点を学び、日々の研究や実践に生かしたいと考える参加者の多いことに改めて驚かされた。

講演後には荻谷氏とフロアとの討論が行われ、我が国の教育の特長や弱点、グローバル時代に活躍できる能力の育成などについて多数の意見が発表され、荻谷氏の示唆に富んだお考えを聞き、活発な話し合いが行われ、有意義な時間となった。

- ・開催日時：令和元年8月3日（金）午後1時30分～4時10分
- ・開催場所：キラリホール
- ・参加者数：約200名（教育・保育・福祉関係者、一般市民、学生など）

(2) 高校出講プログラム（平成31年4月～令和2年3月）

4年制大学への進学に向けてのモチベーションを高めることに貢献しており、高校の授業で行われていない内容であるため、より高度でアカデミックな講義を高校生に触れさせる機会となっている。依頼校の要請に応じて行うので、福祉や教育について広く教養を伝えることを旨とし、テーマについて大学知を伝えられたという点で意義があった。

高等学校を対象として、次のような出講プログラムを実施した。

講 師	月 日	依 頼 元	講 演 名 等
辻井 潤子	2019年4月17日	富山県立水尾高等学校	道徳ガイダンス
	2019年7月2日	富山県立入善高等学校PTA	道徳ガイダンス
	2019年7月6日	越前富山高等学校	道徳ガイダンス
	2019年7月10日	富山県立富山高等学校	道徳ガイダンス
	2019年7月13日	富山県立水尾高等学校	道徳ガイダンス
	2019年7月24日	富山県立志賀野高等学校	道徳ガイダンス
	2019年10月30日	富山県立大学付属高校	道徳ガイダンス
源戸 健	2018年11月19日	富山県立立山小学校	平成30年度 支援型訪問研修会
	2018年11月22日	南砺市立道野小学校	南砺市立道野小学校、自主研究発表会（南砺市学力向上市町村教育委員会プラン策定事業拠点校研修会・南砺市立道野小学校）
福島美枝子	2019年1月29日	富山県立富山高等学校	平成30年度「大学連携講座」題目「小学校から学ぶ英語」

堀江 英一	2018年8月17日	富山市中学校教育研究会	富山市中教研音楽部会研修会
	2018年8月23日	富山市中学校教育研究会、富山市中学校教育研究会音楽部会	平成30年度富山市中学校教育研究会音楽部会実技講習会
	2018年8月31日	富山地区生涯学習協議会	平成30年度富山県リッジ委託富山地区教職講座
	2018年10月27日	立山町立福山中学校	合唱コンクールの特別審査
	2018年6月3日、6月20日、7月18日、8月27日、9月20日、10月18日、1月24日	富山県立富山高等学校	合唱部の指導
	2018年7月26日、8月2日、9月17日	富山大学附属中学校	コーラス部の指導
村上 潤	2018年6月11日	富山県立八尾高等学校	福祉マインドとは
	2018年6月15日	星城国際高等学校	「よりよいコミュニケーションとは」
	2018年6月19日、26日、7月3日、10日、17日	富山県立富山いずみ高等学校	専攻科看護科(社会福祉(生活保護・障害者福祉))
石森 卓子	2018年7月9日	富山県立西高等学校	道徳ガイダンス(保育者の仕事と大学での学び)
永江 理子	2018年7月28日	伏木高等学校	道徳ガイダンス(分野別説明会)
松山 友之	2018年7月9日	富山県立大門高等学校	富山県立大門高等学校(1年生対象道徳ガイダンス(富山県立大学子ども育成学部の学び—小学校教員になるために—))
	2018年12月10日	富山県立富山大学附属高等学校	平成30年度 富山県立大学・富山短期大学・付属高校連携講座「子どもと自然 子どもと科学」
佐藤利典彦	2018年6月7日	岐阜市立長良東小学校	長良東小学校運営協議会
	2018年10月26日、11月2日、16日、30日、12月7日、14日、20日、27日	岐阜市立長良東小学校校長	こよみのよぶね(冬至行事)における制作活動
	2018年11月8日	福川幼稚園	アクションペインティングワークショップ
	2018年11月29日	福川幼稚園	顔を描こうワークショップ

(3) 地域出向プログラム(平成31年4月～令和2年3月)

担当	月 日	就 任 元	履 行 名 称
辻井 満雄	2018年5月25日	富山市男女平等推進センター	平成30年度富山市男女平等推進センターネットワーク会議
	2018年6月7日	富山市立石田小学校	学力向上推進員
	2018年7月31日	富山市教育委員会	いじめ対策委員会
	2018年9月7日	富山県立富山高等学校	富山フィールドワーク
	2018年9月25日	永見市上庄小学校	学力向上フロンティア事業(永見市学力向上推進員会)
	2018年10月10日	富山市立石田小学校	学力向上の学校訪問研修会
	2018年10月11日	新水市長	平成30年度富山県新水市男女共同参画推進員会
	2018年11月1日	新水市立中央山小学校	学校訪問研修会
	2018年11月15日	富山市立富南小学校	富山市小中一貫教育推進事業の小中連携による授業等公開
	2018年11月20日	富山市立石田小学校	学力向上推進員
	2018年1月31日	横川市教育委員会	市内7小学校との学力向上懇談会
辻井 満雄	2018年2月15日	新水市教育委員会	サポートネットワーク会議
	2018年5月25日	富山市男女平等推進センター	平成30年度富山県富山市男女平等推進センターネットワーク会議
瀬戸 真	2018年5月30日	新潟県立教育センター	平成30年度ミドルリーダー養成講座
	2018年6月27日	永見市教育文化センター	魅力ある学校づくり研修会
	2018年7月4日	永見市教育文化センター	小中連携教育推進委員会
	2018年8月4日	富山市教育センター	富山市ミドルリーダー研修会
	2018年2月2日	戸田地区教育研究会	戸田教育推進員
井井 文之	2018年6月4日	小次郎市市	富山県小次郎市小中学校協議会審議会
	2018年7月18日	小次郎市市	小次郎市小中学校協議会審議会専門部会(富山県中学校部会)
	2018年7月29日	小次郎市市	小次郎市小中学校協議会審議会専門部会(富山県小学校部会)
	2018年8月29日	富山県生涯学習部、青少年育成富山県協議会	富山県(少年の生涯富山県大会)における審査委員
	2018年8月30日、31日	小次郎市市	小次郎市小中学校協議会審議会専門部会への派遣
	2018年10月29日	小次郎市市	小次郎市小中学校協議会審議会専門部会(富山県中学校部会)
	2018年10月24日	小次郎市市	小次郎市小中学校協議会審議会専門部会(富山県小学校部会)
	2018年12月4日	小次郎市市	富山県小次郎市小中学校協議会審議会
	2019年1月21日	富山県小学校教員研究会	教育研究論文審査委員会
	2019年1月29日	小次郎市市	小次郎市小中学校協議会審議会(永見市視察)
	2019年2月5日	富山県生涯学習部、青少年育成富山県協議会	富山県生涯学習部、青少年育成富山県協議会(永見市視察)
	2019年2月21日	小次郎市市	小次郎市小中学校協議会審議会(小中学校校長会との意見交換会)
	2019年2月25日	富山県生涯学習部、青少年育成富山県協議会	富山県生涯学習部、青少年育成富山県協議会
高田 真	2018年12月4日	立山町市	子育て世代支援センター事業研修会
村上 潤	2018年5月29日	富山県生涯学習部の助成金	結核の歴史(新すは技術、新くは人の心)

期 間	月 日	担 任 元	講 演 名 称
富 林 市 民	2018年8月25日	社会福祉法人新川会ワフス 会	虐待防止研修会
	2018年5月15日	社会福祉法人鳥取市社会福 祉協議会	事案報告会研修会
	2018年11月17日	セーナー会館	セーナー会館研修会
	2018年7月30日、 2019年2月21日	富山県立富山高等支援学校	県立学校評議員会
	2018年7月17日	特定非営利活動法人 県立生涯学習センター 富山	特定非営利活動法人県立生涯学習センター富山第二委員会
	2018年10月6日	富山県児童発達支援セン ター	富山県児童発達支援センター連絡協議会研修会
	2018年5月28日、6 月25日、7月29日、8 月27日、9月25日、10 月25日、11月27日、12 月18日、2019年2月 5日、28日	富山県厚生児童福祉課長	富山県障害者等福祉支援体制整備事業に係るアドバイザー
	2018年8月31日	富山県福祉サービス第二 期推進協議会	富山県福祉サービス第二期推進協議会
	2018年12月11日	新川地域自立支援協議会	平成30年度新川グループホーム実践人研修会
	2018年6月13日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度福祉施設事業推進協議会研修会
	2018年5月14日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度第1回富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年12月18日	富山市長	平成30年度第1回富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年6月5日	社会福祉法人富山県社会福祉 協議会、富山県福祉力アップ 推進協議会	平成30年度富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年8月1日、11 月13日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年10月3日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年9月20日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年10月9日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年8月28日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
	2018年6月13日	富山市市民生活委員会	平成30年度富山市市民生活委員会調査委員会
	2018年11月20日	富山市社会福祉協議会	平成30年度とやま福祉後援会サポーター第二回調査委員会
	2018年6月28日	富山県厚生児童福祉課長、 富山県厚生児童福祉課長	平成30年度第2回富山県福祉施設事業報告会 修訂合会
福 山 市 民	2018年9月20日	富山市地域 福祉支援セン ター 連絡協議会	地域福祉支援センター職員研修会
	2018年2月22日	福知恵になっても暮らせるまちづくり事業 推進協議会	福知恵になっても暮らせるまちづくり事業推進協議会
大 平 幸 子	2018年4月30日、5 月6日	一般社団法人メンタルヘル ス協会	平成30年度心身障害者福祉関係者研修会
	2018年7月2日	独立行政法人労働者健康安全 推進機構富山県労働安全衛生 センター	労働安全衛生向上セミナー
	2018年8月3日	富山県生涯学習センター	平成30年度生涯学習研修(初級研修会)、新県民局職員研 修会(県民生活2)
	2018年8月22日	富山市長	富山市男女平等推進市民委員会
	2018年8月24日	独立行政法人労働者健康安全 推進機構富山県労働安全衛生 センター	特定非営利活動法人富山県労働安全衛生センターにおける調査
	2018年10月9日	公立学校共済組合富山支部	平成30年度「心と体の健康づくり」事業におけるメンタルヘル スサポート
	2018年10月28日	独立行政法人労働者健康安全 推進機構富山県労働安全衛生 センター	平成30年度(第2期)労働安全衛生調査研究発表会

期 間	月 日	担 任 元	講 演 名 称
大 平 幸 子	2018年11月13日	富山県生涯学習センター所 属	結核のメンタルヘルスマネジメント
	2018年11月13日	富山県労働安全衛生センター	労働安全衛生向上セミナー
	2018年11月29日	富山県労働安全衛生センター	富山県労働安全衛生センター職員研修会
	2018年12月10日	富山県生涯学習センター所 属	平成30年度介護予防ケアマネジメント研修会(富山研修)
福 山 友 之	2018年7月28日	富山県立富山大学、富山県立 富山大学	富山県立富山大学、富山県立富山大学リレー富山県南砺市地域包括 ケアセンター富山県立富山大学南砺サテライト(勤労のおもちゃを作 ろう！)
	2018年9月22日	富山県立富山大学、富山県立 富山大学	富山県立富山大学、富山県立富山大学リレー富山県南砺市地域包括 ケアセンター富山県立富山大学南砺サテライト(勤労のおもちゃを作 ろう！)
	2018年10月6日	富山県立富山大学、富山県立 富山大学	富山県立富山大学、富山県立富山大学 大学附属南砺(ふんりの科 の南砺)
	2018年10月27日	富山県立富山大学、富山県立 富山大学	富山県立富山大学、富山県立富山大学リレー富山県南砺市地域包括 ケアセンター富山県立富山大学南砺サテライト(勤労のおもちゃを作 ろう！)
北 海 道 県 民	2018年7月21日	平成30年度生涯学習士養成 セミナー	平成30年度生涯学習士養成セミナー第2回実行委員会開催
	2018年8月1日	富山県子ども文化事業実行委 員会、中越地区の会	子ども木の森創作発表会
	2018年8月7日	富山県市町村協議会	富山県市町村協議会

(4) 令和元年度教員免許状更新講習

- ・内 容：必修領域・選択必修領域開講
- ・募集期間：令和元年7月8日（月）～7月17日（水）
- ・日 程：令和元年8月20日（火）・21日（水）
- ・受講者数：61名（幼稚園教諭免許状61名）
- ・認 定 者：61名
- ・開催場所：富山国際大学呉羽キャンパス 子ども育成棟 701室・702室

(5) 令和元年度幼稚園教諭免許状特例講座

- ・内 容：必要8単位分の講座
- ・募集期間：令和元年5月15日（水）～5月21日（火）
- ・日 程：令和元年6月29日（土）～12月15日（日）の期間で16日間実施
- ・受講者数：16名（内6名は一部講座受講者）
- ・認 定 者：16名（取得単位数は各受講者の講座選択状況による）
- ・開催場所：富山国際大学呉羽キャンパス 子ども育成棟 E406

2. 課題

(1) 子ども育成フォーラム

子ども育成フォーラムは、ひとづくり財団の助成金が2019年度から大幅な減額となり厳しい状況の中でも開催であったが、各方面の協力により実施することができた。このような盛大なフォーラムを今後開催できるかについては、学部を含め各方面との連携や検討をさらに進める必要がある。また今後は、パンフレットの発送、会場装飾、プログラム等の印刷物作成は必要最小限にするなど早い段階から準備を進める必要がある。また、講師の人選、期日の決定等で学園行事や学外行事が多く期日の設定が難しい。多数の集客が可能な時期も検討が必要である。

(2) 令和元年度教員免許状更新講習

平成27年度より講習が始まり、必修領域に加えて選択必修領域を設定し実施した。新免許保持者の有効期限満了者も発生しており受講者の急増が予想される。一昨年から定員を50名から80名に増加させ対応。今後もこの定員にて実施を予定したい。

8. 後援会・家庭連絡

1. 実績と現状

(1) 後援会総会・個別相談会

令和元年6月、後援会総会に合わせて個別相談会が実施され、32名の相談希望者及び学部からの召喚者に対して、個別の相談会を実施し、ゼミ担任などが対応した。

(2) 大学祭・保護者懇談会

令和元年10月、第10回大学祭初日に、保護者説明会を開催し、学部と学生の概況、就職動向などについて説明した。

説明会終了後、39名の希望者及び学部からの召喚者に対して、個別の相談会を実施し、各ゼミ担任が対応した。

(3) 保護者あて「学生の皆さんの概況について」の送付

令和元年5月に第21報、令和元年9月に第22報を送付して、学部の概況、各学年の学生の状況、家庭への要望事項などを記した資料を配布した。執筆は、学部長及び各学年演習担当者。

※別紙「第21報」及び「第22報」を参照

(4) その他家庭との連絡・保護者面談など

学業成績や学習態度、欠席多数などの問題、休学や退学、学外実習許可の履修要件に抵触する学生などの保護者について、適宜ゼミ担任または適応支援チームが個別面談の機会をもち、家庭への状況説明と情報収集、連携協力依頼などを行った。

2. 課題

(1) 家庭との連絡・協力の一層の緊密化

現状では、問題発生への対処として個別相談を実施しているが、問題の予防的な意味からも、教員間の状況共有や平常時からの家庭との連絡・協力をより緊密にしていく必要がある。

(2) 相談記録の集約・保存・引き継ぎ・活用

家庭との相談の記録、学生の状況記録などは、各ゼミ担任個人レベルでの整理・保存にとどまっており、記録の作成・引き継ぎなどについては、記録用の様式について、学部として一定の書式が確認されたが、完全なルール化と円滑な運営までには至っていない。しかし、健康面で配慮が必要な学生について、健康センターとの情報共有がより一層行われるようになり、学生への支援が充実してきた。

既存の「学生に関する調書」と一体化した上で、一括管理して、記録、保存、閲覧、引継できるようにしていく必要がある。

はじめに

日頃のご理解ご支援、感謝申し上げます。

開設 11 年目の子ども育成学部は、入学者累計 1004 名、卒業生総数 583 名、2019 年度定員充足率 114.0%となり、学生同士が切磋琢磨する環境が整っています。入学定員 90 名として 2 年目になりました。今後は、共存・共生の精神と知性を磨く教育を一層推進してまいります。

6 月の後援会総会・個別相談会のご案内に併せて、学部と学生の皆さんの概況についてお知らせします。保護者の皆様方には、大学での学びと生活についてご理解いただき、ご家庭での懇談や指導などのご参考にしていただければ幸いに存じます。

2. 学生・教職員の現況(2019 年度始めの現況)

・ 学生 1 年生 99 2 年生 92 3 年生 116 4 年生 92 合計 399 名 (内訳)[男子 78:女子 321][富山 383:新潟 8:石川 4:福井 2:滋賀 1:静岡 1]

- ・ 教員 専任 20(教授 10・准教授 6・講師 4)、学园内兼任 10、非常勤講師 35、合計 65 名
- ・ 職員 専任事務 3、兼任事務 4、契約参事 1、派遣事務 1

3. 第 7 期卒業生(95 名)の就職・進学状況(2019.5.1 現在)(6 期生を上回る成果を挙げました。)

・ 就職率 100% 小学校教諭 38(うち講師 10)、保育士・幼稚園教諭 27、社会福祉職 12、企業 10、公務員等 5、大学院 3

・ 資格/免許 小学校教諭 62 幼稚園教諭 71 保育士 60 社会福祉主事任用資格 94 社会福祉士 15(受験資格 21・合格 15(合格率全国 19 位・全国私大で 5 位))スクールソーシャルワーカー 2

4. 2019 年度の取組み

- ① 「外国語科教育法」等、職場体験「富山に学ぶインターンシップⅡ」を設置し、教職課程や保育士課程、体験活動の充実・強化に取り組んでいます。
- ② 昨年、授業の一環として海外(オーストラリア、マルタ、タイ、シンガポール、カナダ・中国・韓国)へ派遣した学生は 18 名でした。今後も、海外を体験できるよう支援します。
- ③ 全学生が自主的に英語学習に取り組める無料の英語ネット教材「チエルネット」の活用を広めていきます。
- ④ 毎月第 4 土曜日 11 時に、地域連携として学生主体の「子ども食堂」を開催しています。
- ⑤ 授業・行事や学生生活の様子が分かるよう、大学のホームページへの掲載に取り組んでいます。

5. おわりに

子ども育成学部は、「明日を担う子どもの育成を通して、地域に貢献できる人材の養成」を目的として、学生の皆さん一人一人の夢「なりたい自分」を叶えるための教育・研究に努めています。これまで 10 年間の教育実績も、高く評価され、注目されています。

今年度も、学生の皆さんの強い意志と自己向上努力を軸に、保護者の皆様方と共に歩んで参ります。今後ともご理解ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

(子ども育成学部長 辻井満雄)

* 個別懇談会についてのお知らせ

・ 6 月 22 日(土)の後援会総会の前に、ゼミ担任との個別懇談会を開催します。懇談希望の場合は、ご遠慮なくお申し込みください。なお、ゼミ担任(学部長)から保護者の方に、ご来談くださるよう別途お願いする場合があります。その節には、万障繰り合わせてご来場くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1年生の概況について

「教養演習」(1年生)担当教員

新しい学生生活は、概ね順調にスタートしました。

1年生の皆さんには、先輩の姿に学びながら、それぞれの目標を模索し、将来の進路を見定めていくことを期待しています。

1. 富山国際大学で学ぶために

- ・4月のオリエンテーションでは、学部の教育理念・目標、年間計画、教育課程・学年暦・行事予定、資格・免許などの説明を行いました。学部長からは、「あいさつ」をしっかり行うことや目標を持っているいろいろなことに「チャレンジ」すること、常に「前向きな気持ち」で学生生活を送ることについての要請がありました。
- ・初年次教育として、学長特別講義『富山国際大学の歴史と基本理念』を実施しました。学園の理念「知性・教養・個性」と大学の基本理念「共存・共生」を理解し、本学学生としての自覚を深め、勉学意欲の向上を促すと共に、「大学で学ぶとは」という学びの本質論も指導しました。

2. 授業など学習面について

- ・毎日の授業では、1コマ90分、夕方6時まで、毎時間の出席確認などにも慣れてきたようです。4月には『教養演習ガイドブック』などを教材に、ノートのとり方やレポートの書き方、5月には調査研究のための統計学などについて指導しました。2年生の先輩の経験談とともに、高校との違いを乗り越える力となればと期待します。なお、7月には、ゼミ毎に進めている共同研究の成果を発表する教養演習ゼミ別合同発表会を行う予定です。
- ・8月上旬に期末試験、夏季休業は8月中旬～9月末となっていますのでご理解願います。

3. 生活面について

- ・各ゼミ室で教員や学生の交流機会を設けるなど、新入生が大学生活に馴染めるよう工夫しています。また、大学生活が順調に滑り出せるよう、ゼミ担当教員・事務職員・健康管理センター・カウンセラーなどが連携しながら適応支援に努めています。
- ・日々の授業への集中、規則正しい生活習慣と生活リズムの確立など、ご家庭でもご指導をお願いいたします。また、アルバイト等に貴重な時間を過度に割いて、折角の大学時代の意義が犠牲にならないよう、ご理解の程お願いいたします。

4. 就職等キャリア支援について

- ・今年も専門職求人は順調で、教員をはじめ保育士・社会福祉士など県市町村の募集要項も順次公表されています。後期には、「キャリア入門講座」を開講します。小学校教諭、保育士、社会福祉士の第一線の先生方をお招きして、教育・保育・福祉の現場の話を学生が直接聴く機会も設けます。子ども育成の職場と専門職への理解を深めながら、資格免許取得への動機付けや、今後に向けて学習への意欲を高めることを目的としています。

5. 学校行事等について

- ・4月26日(金)・27日(土)は国立能登青少年交流の家で1・2年生によるオリエンテーション交流合宿、27日(土)には金沢市内ゼミ別活動を行い、親睦と交流を深めました。
- ・4月26日(金)の午前中は、学部の学友会総会ならびに1～4学年全員参加による学部交流会(ビーチボール大会)を実施し、3・4年生とも交流しました。

□ 保護者の皆様には、今後とも一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(「教養演習」1年生担当：河崎・金子)

2年生に進級して後輩ができたことで、授業や課外活動等において頼もしく活動する姿が見られます。一方、後輩に助言することの難しさも同時に体験しているようです。

このような経験を糧に、一人ひとり着実に成長していくことを願っています。

1. 授業など学習面について

- ・ 2年次から教育・保育・福祉分野の専門科目の授業や実習指導が本格的に始まりました。
- ・ 「教養演習」では、1・2年生合同で後輩と学び合い、改めて大学生活の基本を確認しました。今後は、7月のゼミ別活動合同発表会に向けて、ゼミ毎にテーマを決めて調査・探求を行い、1年生をリードしながら研究成果をまとめていきます。
- ・ 保育士資格希望者には、9月の学外実習「保育所実習Ⅰ(0～2歳児)」に向け、事前指導を行っています。6月には現場の保育者から直接講義を受けます。また、11月の「施設実習Ⅰ」に向け、6月に児童福祉施設等の見学が予定されています。
- ・ 社会福祉士をめざす学生が「相談援助技術」を学ぶための演習も始まりました。具体的な援助場面を想定した実技指導で、専門的な技術とともにキャリア意識も深めていきます。

2. 就職等キャリア支援について

- ・ 「キャリア支援講座Ⅰ」では、各分野の仕事への理解を深めたり、採用試験の概要を学んだりしています。この講座等を通して、進路を決定し希望を実現できるよう支援していきます。分野選択の悩みなどについては早めに遠慮なくお尋ねください。

3. 生活面について

- ・ 自家用車通学者には事故防止のための注意を喚起しております。特に交通安全についてはご家庭でもご留意をお願いいたします。
- ・ 授業に欠席しがちな学生は、進路の迷いや友人関係の悩みを抱えている場合があります。欠席回数が多いと、実習の履修が許可されず資格免許の取得が困難になることや、期末試験の受験資格を失うことになる場合があります。ご家庭でのご支援もお願いいたします。
- ・ サークル活動が活発になってきました。新たに加入する人、リーダーとして集団をまとめる人、地域で活躍する人など、興味のある活動を通して様々なことを学ぶ機会となっています。授業や実習の合間を縫っての活動ですが、自己実現を支援していきたいと思います。
- ・ 夜遅くのアルバイトは控えるよう指導しています。基本は「学業が最優先」ですので、ご家庭でも、実情把握と適切なご指導をお願いいたします。

4. 学校行事について

- ・ 4月26日(金)・27日(土)のオリエンテーション交流合宿は、2年生の実行委員を中心に準備を進め、企画運営の経験を積む好機となりました。初日は全学年が参加した学友会総会とともにスポーツによる学部交流会も行われ、親睦と交流を深めました。

□ 2年生は、実習などを通して卒業後の進路を真剣に考え、絞っていく学年でもあります。保護者の皆様には、一層のご理解ご支援をくださいますようお願い申し上げます。

(「教養演習」2年生担当:室林・竹田)

大学生活は、既に折り返しを過ぎて後半に入りました。卒業後の進路を決定する時期が迫ってきたことで不安になっている姿も見られます。先輩たちを見習って地道な努力を日々続けてほしいものです。残りの学生生活が有意義なものとなるよう願っています。

1. 学外実習について

- ・ 9 月には、15 日間の「教育実習」及び「幼稚園教育実習Ⅱ」が予定されています。
- ・ 教育実習に向けては、授業「教科教育法等(10 科目)」での「新小学校学習指導要領」に沿った教材研究や指導案づくり、模擬授業など、主要教科目の専任教員により充実した指導が行われています。
- ・ 幼稚園教育実習Ⅱに向けては、指導実習の DVD 視聴を通して、幼児との関わり方を考えたり、内諾実習園での事前観察を行ったりと、15 日間の実習で多くの学びが得られるよう準備を進めています。模擬保育での指導案作成や教材研究を行ったり、実習日誌を記入したりしながら、実践力をつけていきます。
- ・ 社会福祉分野では、3年次 2～3 月の「相談援助実習Ⅰ・Ⅱ」(25 日間かつ 180 時間)のための演習などを積み重ねつつ、社会福祉士国家試験に向けた準備も着実にスタートさせています。
- ・ 実際の子どもの様子や教育・保育現場の仕事をもっと知りたいと、「富山に学ぶインターンシップⅠ」や「自主研修(インターンシップ)」などの職業体験を活用して、小学校・幼稚園・保育所・認定こども園・子育て支援センター・施設に出かける学生もいます。実習では得られない体験は、深い学びとなっています。
- ・ 充実した実習のためには、日常の健康管理が大切です。ボランティア活動やアルバイトなどから得る学びもありますが、大学での系統的な学習が第一であることを忘れず、学業を最優先に考えて、生活リズムを整えていくことを奨励しています。

2. 卒業研究について

- ・ 本学では、3・4年次の 2 年間で卒業研究を行うカリキュラムとなっており、4月からそれぞれのゼミに分かれて卒業論文作成の準備をスタートしました。なかなかテーマを絞りきれない学生が多いようですが、さまざまな先行研究を調べていくうちに、自ずと研究したい命題が出てくるはずです。
- ・ 3年次の後期には、卒業研究の中間発表が予定されており、研究テーマや研究計画などについてポスター発表を行います。4年次には、卒業研究に取り組んだ成果を卒業論文としてまとめます。

3. キャリア支援について

- ・ 小学校・保育・社会福祉分野の専門職を目指す「キャリア支援講座Ⅱ」が、前期は火曜 5 限に開講されています。
- ・ 小学校分野では教員採用試験対策、保育分野では公立および私立保育所・幼稚園・認定こども園の採用試験対策、社会福祉分野では 4 年生の 2 月に実施される国家試験対策をスタートしました。
- ・ 一般企業や公務員などを目指す学生にも、東黒牧キャンパスのキャリア支援センターと協力して、課外講座を提供し、企業研究やエントリーシートの書き方を指導しています。

□ 最終学年につながる大事な学年です。ご家庭でも一層の励ましをお願い申し上げます。

(「卒業研究」3年生担当：大平・佐部利)

4年生の概況について

「卒業研究」「キャリア支援」(4年生)担当教員

いよいよ子ども育成学部での学びも最終年度を迎えました。4年生は、これまでに得た専門的知識と実践力を深め、コミュニケーション力を活かし、各自が描く未来に向け着実に歩みを進めています。

1. 授業など学習面について

- ・ 4年生の教育課程は社会福祉関係科目に重点が置かれていますが、卒業に必要な科目・単位、資格免許に必要な科目・単位を修得できているか、履修漏れがないよう注意してください。
- ・ 資格や就職のための科目を履修するだけでなく、4年で受講できる教養科目も複数あります。積極的に意欲的な学びが、専門職に就いてからの大きな助けとなりますので、是非活用してください。

2. 卒業研究について

- ・ 3年生で履修した「卒業研究Ⅰ」では、自ら選択した研究テーマのアウトラインを「卒業研究中間発表会」で発表しました。今年度の「卒業研究Ⅱ」では、温めてきたテーマをさらに深く掘り下げ、卒業論文の完成を目指します。卒業論文の提出は12月下旬ですので、計画的に作業を進める必要があります。
- ・ 卒業論文の提出が終わると、翌年1月には「卒業研究要旨集」のための原稿提出、2月には卒業研究発表会と、大切な手続きや行事が続きます。最後まで研究テーマにとことん向き合い、4年間の学びの集大成となる研究物を発表してくれることを期待しています。

3. 就職・進学・キャリア支援について

- ・ 今年度も、昨年度と同様に多くの求人が見込めます。現在、3・4年生全員には、一斉メールで【求人速報】を配信しています。受験予定者に対する個別相談、履歴書・面接指導にも、時間をかけ丁寧に取り組んでいます。是非、ご家庭でも関心をもってください、確かな就職や進学の実現に向けて、慎重かつ適切な対応をお願いいたします。
- ・ 小学校分野では、本番に向けた模擬試験、集団面接、採用試験直前の専門・教職教養の演習等に取り組んでいます。7月の小学校教員採用試験(新潟県7日、富山・石川・20～21日)には、35名(富山県30名、石川県1名、新潟県4名)が出願する予定です。
- ・ 保育分野では、6月23、30日、7月7日の市町村保育士採用1次試験をはじめ、民間からの求人が多数寄せられており、模擬試験や論作文の書き方、集団・個人模擬面接などの指導を行っています。7月20～21日に開催される「福祉のお仕事フェア」への準備も進めています。
- ・ 福祉分野では、希望職種に応じて個別に指導しています。5月中旬に富山県健康・福祉人材センターの求職者登録を済ませ、保育分野と同様に「福祉のお仕事フェア」に参加します。
- ・ 一般公務員・企業では、希望職種に応じて、専門のアドバイザーによる模擬面接の指導や就職情報の提供、採用試験に向けた支援を個別に行っています。
- ・ 5月8日現在、希望進路の状況は、小学校教諭41名、幼稚園教諭・保育教諭・保育所保育士29名、社会福祉関係19名、企業等12名、その他1名となっています。

□ 学生生活最後の年が、実り豊かで思い出深い1年となりますよう、保護者の皆様方と一緒に支援して参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(「卒業研究」4年生担当:彼谷・松山・奥田)

令和元年度も後半を迎えます。夏季休業中には、全国大会出場した女子軟式野球・女子ハンドボール・陸上（ハンマー投げ・マラソン）、自主的なボランティア活動、地域に貢献した学習支援活動・子ども食堂・自主研究・サークル活動、異文化研修でマルタ・中国へ、海外研修でデンマークへ、とやま塾 in HIMI に参加、とやま地域学の学習など積極的に活動する学生を見ました。また、4 年生は保育・小学校・福祉の就職試験や卒業研究、2・3 年生は保育所・幼稚園・小学校への実習、1 年生は授業の一環として 20 時間以上のボランティアに取り組みました。

1 就職・進学・キャリア支援について

- ・ 4 年生では、小学校教員 20 名、保育士 10 名、福祉分野 12 名、公務員 2 名、企業 10 名の内定が出ています（9 月 20 日現在）。この後、小学校教員は臨任講師への道、保育士は公立（富山市等）2 次試験や民間保育所の採用試験、福祉は民間福祉・医療事業所の採用試験や国家試験対策など、それぞれの目標に向かって最後の踏ん張りどころです。企業も含めて、ゼミ担任や各分野の担当教員にご相談下さい。
- ・ 3 年生は、後期から「キャリア支援講座」を分野別に集中的に指導します。採用試験まであと半年余り。実習の成果を振り返りながら、「成りたい自分」へ対策強化です。
- ・ 2 年生は、後期から専門職関連の授業が多く開講されます。日々の授業、実習の事前事後学習への専心が重要です。
- ・ 1 年生は、後期から、必修科目「キャリア入門講座」を開講します。①幼稚園教諭・保育士、②小学校教諭、③社会福祉士の 3 分野の進路選択について学習します。3 分野について、ご家庭でも十分に話し合われますようお願いいたします。

2 学習面について

- ・ 前期（4～9 月）の学業成績を同封しております。一部の学年や科目で、再試験対象者がいました。成績不振のため実習を延期する場合は、保護者の方とも個別相談をさせていただきます。日頃の学習の大切さについて十分ご理解をお願いします。
- ・ 保育士・教員・社会福祉士など子ども育成の専門家への道は、容易ではありません。実習先・就職先など社会の注目と期待は、極めて強く厳しいものがあります。日頃から「学びの精神」をもって、授業・予習・復習・課題などに地道に取り組むことが、確かな就職につながります。また、将来を担ってくれる人材として、大きな期待が寄せられています。生活リズムを崩す過度のアルバイトや活動などで、学生生活を貧しくしてしまわないよう、ご家庭でも責任あるご指導をお願いします。

3 進路・学習・生活面での相談支援について

- ・ 相談支援の窓口は、①ゼミ担任、②科目担当教員、③実習担当教員、④キャリア支援担当、⑤事務室、⑥健康管理センターなど多様にあります。また、⑦メール相談、⑧後援会役員を通しての要望・相談なども可能です。早めの相談をお待ちしています。
- ・ この時期、授業や実習等をめぐり、自分の適性や進路選択の悩みなど様々な思いが交錯します。保護者の皆様には、適切な助言などご協力をお願い申し上げます。

4 第 11 回大学祭と保護者懇談会

- ・ 10 月 19・20 日開催の第 11 回大学祭では、3 年生が卒業研究の中間発表、サークルの活動発表、学友会の取組などがあります。また、19 日の保護者懇談会では、就職などの説明を行います。大勢の保護者の皆様のご来校をお待ちしております。

（学部長：辻井満雄）

1 年生の概況について

「教養演習」(1 年生) 担当教員

大学生になって初めての夏休みも終わり、後期がいよいよ始まります。後期では、専門的な学習や実習が本格化しますので、気持ちを引き締めて学習に臨んでほしいと思います。

保護者の皆様には、今後とも学習面、生活面にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1. 学習面・生活面について

- 大学の授業では、資格免許を取得するための履修科目を自分で選び、その授業内容を確実に理解し身に付けるために、授業の準備や自主的な学習等が大切です。一部の学生の中には体調不良による遅刻や欠席がありました。自分でスケジュールを管理し、授業に集中できる規則正しい生活習慣と生活リズムが身に付くよう、ご家庭でも引き続きご指導をお願い致します。また、アルバイト等に過度に割いて、折角の大学で学ぶ意義が犠牲にならないよう、ご理解の程お願いいたします。

- 卒業必修科目に1・2年生合同の授業「教養演習」があります。前期では、各ゼミ別に研究テーマを決め調査・探究活動を行い、7月に「ゼミ別活動合同発表会」で研究発表をしました。「富山の水」「富山弁」「勉強と朝食・昼寝・運動の関係」「アレルギー」「富山の食文化」等、専門分野の内容を意識したテーマについてプレゼンテーションが行われました。後期では、前期で学んだ研究活動の仕方を基に、個人別課題研究に取り組み、関心のある分野への研究アプローチを通して、専門分野の知識を自主的に深める取り組みがスタートします。

- 前期は、心理学、教育原理、日本国憲法など、子ども育成の基本科目に加えて、大学生としての教養を身に付ける科目がほとんどでした。1年生は、興味・関心をもった事をさらに学び深めようとする意欲が旺盛で、多くの学生が自らボランティアや小学校での理科実験アシスタント等に積極的に参加している姿が印象的でした。これは、1年生の皆さんが受け身ではなく、自ら課題をもって毎日を過ごしている証拠です。この姿勢を大切にして、これから始まる専門的な学習にも意欲的に臨んでほしいです。

2. キャリア支援について

- 小学校、幼稚園・保育所、社会福祉など各分野に向けた「キャリア入門講座」が、後期から卒業必修科目の授業として始まります。計画的に、キャリア形成ができるよう1年次から指導します。キャリア入門講座の中では、小学校教諭、保育士、社会福祉士の現場で活躍されている方をお招きして、それぞれの現場の話を学生が直接聴く機会を設けます。専門職への理解を深めながら、資格免許取得への動機づけとなり、学習への意欲を高めることを目的としています。ご家庭でも、将来の方向性について、是非この時期から話題にしていきたいと思います。

3. 専門的学習や実習に向けて

- 11月から、「幼稚園教育実習Ⅰ」が始まります。いよいよ卒業後の進路を見通した専門的な学習や実習が本格化します。社会人としての必要なマナーを身につけながら、専門職の素晴らしさや厳しさを体験する初めての機会です。

- 日々の講義で多くの分野について幅広く学びながらも、自分の目指す道を決めていく時期です。これからも教職員一同、全力で教育・指導に努めてまいりますので保護者の皆様には、今後とも一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(担当：河崎・金子)

2 年生の概況について

「教養演習」(2 年生) 担当教員

夏季休業も終わり、後期の授業・活動に向けて学生たちはそれぞれ準備を始めています。
保護者の皆様には、以下の点にご理解とご協力を下さいますようお願いいたします。

1 授業・学習面について

- ・ 8 月末に、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格免許科目の「**体育**」が行われました。学内では専門指導者を招聘して器械運動の授業、学外では陸上競技場や市民プールにおいて幼児・児童の体育指導法の授業が行われ、体験を通して学びました。
- ・ **授業を 6 回欠席**しますと、期末試験の受験資格がなくなり、単位が取得できません。卒業や資格取得にもかかわる問題ですので、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

2 実習・キャリア支援について

- ・ 実習を通して、自分の進む進路をより明確にしていきます。なお、実習の履修要件（健康状態、授業・生活態度、成績等）を満たさなければ、原則として実習に行くことはできません。2 年生の成績・態度は、今後の 2 年次・3 年次の実習に大きく影響します。授業に取り組む姿勢、生活態度、健康管理等に十分留意するよう学生に指導していきます。
- ・ **保育士資格取得希望者**は、9 月に 10 日間の「**保育所実習Ⅰ**」(9/2～9/13)を終えました。その後、10/25(金)に行われる「保育所実習Ⅰ報告会」に向けて、振り返りをします。また「**施設実習Ⅰ**」(11/11～11/22)は、富山県内の児童福祉施設等で実施します。すでに配属先が決定しておりますので、目的意識を再確認し、事前学習及び体調管理に努め、実習に臨んでいただければ願っています。
- ・ **小学校教諭一種免許状取得希望者**は、**来年 9 月の「小学校教育実習」(3 年次)**に向けて、夏季休業中から母校等へ実習依頼に出向き、手続きを進めています。また、免許状取得のために 3 年次には、「**介護等体験**」(特別支援学校 2 日間・社会福祉施設等 5 日間)に出かけます。今から、実習への心づもりをして欲しいと思います。
- ・ 後期には、3 年次前期に行われる「**幼稚園教育実習Ⅱ**」の履修希望調査が始まります。幼稚園教諭一種免許状の取得について、ゼミ担当教員や科目担当教員と相談しながら手続きを進めていきます。
- ・ 「**キャリア支援講座Ⅰ**」は、3 分野から希望する分野に分かれて授業を行っています。**保育分野**では、ピアノ演奏や自作保育教材実演等の実技試験対策、論作文の練習を、**小学校分野**では、教員採用試験で過去に出題された問題や集団討論の練習を、**社会福祉分野**では、社会保障の基礎など社会福祉に関わる様々な課題について考える機会をもっています。進路に悩んでいる学生も見られます。ご家庭でのご支援をお願いいたします。

3 授業外の活動・生活面について

- ・ **オープンキャンパス**(7・8 月)では、学友会の 2 年生が中心となって、大学生活の紹介を行うなど様々な係を通して、多くの高校生と触れ合う機会となりました。
- ・ **第 11 回大学祭**に向けて、2 年生を中心とした大学祭実行委員が前期から準備を進めています。様々な困難を乗り越え、達成する力を養う機会となることが期待されます。
- ・ 2 年生は、**自家用車通学**が多いため、交通事故防止のための注意喚起を行っております。ご家庭でも引き続きご指導をお願いいたします。

(担当：室林・竹田)

今年の夏も、3 年生が中心となり活躍する姿が多く場面で見られました。サークルでは、時にぶつかりあいながら目標に進む姿がありました。「となみ野サマーチャレンジ」など、夏休みの子どもたちに関わる学外活動でも、中心となって行事を進める姿を頼もしく感じました。子ども育成学部と現代社会学部の学生が協働で、行政や地域の方とすすめている SDGs (持続可能な開発目標) 啓発活動の一つであるカルタ大会では、3 歳から小学 6 年生までの子どもたちの活動のファシリテーションを行い、大変盛り上がりしました。

1 学外実習について

3 週間（15 日間）の「幼稚園教育実習Ⅱ」と「小学校教育実習」が夏季休業中に行われました。幼稚園教育実習Ⅱの実習訪問では、1 年生で幼稚園教育実習Ⅰを、2 年生で保育所実習Ⅰを経験したこともあり、余裕をもちながら子どもたちとも積極的に関わり、自分で考え、動くことができていると感じました。小学校教育実習では、子どもたちと真摯に向き合い、分かりやすく楽しい授業にしようと懸命に取り組む姿が見られました。大学に来て、黙々と実習の授業の案を練り、準備に取り組む姿がありました。実習先の幼稚園や小学校の先生方からも、そうした姿を評価していただいています。実習を一つ終えるたびに、学生たちは大きく成長していきます。これらの経験が自分を知り、自らの適性に合った進路を決定していく材料にもなります。

2 「卒業研究Ⅰ」について

今年の 4 月から卒業研究のゼミに配属された 3 年生は、前期に、卒業論文のテーマを考えるために、文献調査をしたり、ゼミ内で興味のあることについて討論をしたり、実際に見学に出かけたりしてきました。なかには研究したいことが複数ある学生や、テーマを決めて調べ始めたものの行き詰って、テーマ変更に踏み切る学生もいます。自分が最も関心あることをしっかりと見定めて、3 年生の後期までに資料、論文、文献の収集、フィールドワーク（実地調査）、アンケート調査等の材料をそろえることができると、4 年生で実習や就職活動で多忙になっても、充実した研究を行うことが可能だと考えます。10 月の大学祭では、現段階における研究の方向性等をポスターで展示し発表します。是非、大学祭にお越しになり、進捗状況をご覧いただけたらと存じます。

3 キャリア支援（就職・進学）について

- ・ 通年科目である「キャリア支援講座Ⅱ」では、保育士・幼稚園教諭、小学校教諭、社会福祉士の中から希望する講座を受講しています。一般企業や公務員などを目指す学生には、特別講座（課外）を提供し、東黒牧キャンパスのキャリアカウンセラーの協力も得て、指導体制をとっています。後期には、各講座において、模擬面接や集団討論等、より実践的なプログラムも盛り込んでいきます。
- ・ 「富山に学ぶインターンシップⅠ」では、保育・教育・福祉の実践現場での就業体験を行っています。専門職のあり方について考える機会でもあります。
- ・ 4 年生に進級すると、まもなく採用試験が始まります。今年度も保育・教育・福祉の各分野で、昨年以上に、先輩たちの採用試験合格や就職活動の成果が届いています。成功をつかむには、明確な目標に向かって地道な努力と体調管理が大切です。保護者の皆様には、引き続き、学生の生活状況の把握と日々の励まし等をお願いいたします。

（担当：佐部利・大平）

4 年生の概況について

「卒業研究」(4 年生) 担当教員

卒業まで残り半年となりました。いよいよ、大学生活の総仕上げとなる 4 年次後期が始まります。学生一人ひとりにとって、卒業論文の執筆とともに、卒業後の進路に向けた大切な時期であることの自覚が求められます。最近の概況についてお伝えいたします。

1. キャリア支援(就職・進学)について

・ 富山県小学校教員採用試験では 30 名が 1 次試験に合格する快挙を成し遂げました(1 名は進路変更のため辞退)。卒業生 13 名を合わせた 42 名が、お盆休み返上で、2 次試験に向けた特別講座に取り組みました。結果は 20 名合格。また、他県については現在、石川県公立学校教員を受験した 1 名と新潟県の 1 次試験に合格した 5 名が結果発表を待っています。保育士・幼稚園教諭・保育教諭採用試験では、公立 6 名、民間 5 名がすでに内定を得ています。社会福祉関係では、富山県 1 名、大阪市 1 名、富山市 4 名や民間の社会福祉施設採用試験で 6 名が内定しています。公務員では氷見市(行政) 1 名、一般企業でも 9 名が内定を得ています(数字はいずれも 9 月 12 日現在)。

・ 保育士・幼稚園教諭・保育教諭、社会福祉士採用については、大学に届いた求人情報を学部のキャリア支援センターから一斉メールで速報し、ゼミ担当教員が中心となり、保育・教育・福祉・企業等の各分野担当と連携をとりながら支援しています。就職は、後になればなるほど採用条件が厳しくなりますので、早めに見学・応募することが重要です。ご家庭でのお声かけをよろしくお願いいたします。

・ 後期には、社会福祉士国家試験受験者を対象に「キャリア支援講座Ⅲ」が開講されます。2020 年 2 月 2 日の国家試験に向けて、最終的な受験体制に入ります。当日の試験は午前・午後合わせて 4 時間の長丁場です。知力のもとより、体力と気力が不可欠となりますので、万全の体調管理が求められます。保護者の皆さまの温かい励ましが大きな力になることと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。

・ 「富山に学ぶインターンシップⅡ」(4 年次開講科目)では、保育・教育・福祉の実践現場での就業体験を行っています。実習前後や卒業を前に、専門職のあり方について考える最後の機会でもあります。

・ 教員一同、学生一人ひとりの「なりたい自分になる」ためのサポートを行っています。保護者の皆様には、生活状況の把握、健康への留意、励まし等をお願いするとともに、ご質問やご相談につきましては、まず、ゼミ担当教員へのご連絡をお願いいたします。

2. 卒業研究Ⅱについて

・ 卒業研究Ⅱは、4 年間の学びと研究活動の集大成です。12 月下旬の卒論提出に向け、一人ひとりが、教育・保育・福祉等の分野に関わるテーマを選び研究を進めています。

・ 今年度の卒業研究発表会は、2020 年 2 月 8 日(土)に開催されます。卒業研究を始めた頃は、発表会はまだ先の話だと思っていたことと思いますが、授業、実習、就活と忙しく過ごすうちに、残り時間もわずかとなりました。卒業研究は極めて創造的な作業です。将来どの職業に就いても、この体験はいずれ必ず役に立つでしょう。保護者の皆様には、卒論完成まで温かく見守って頂きますようお願いいたします。

(担当：奥田・松山・彼谷)

9. 研究活動

1. 実績と現状

(1) 子ども育成学部紀要第 11 巻

第 1 号 (2019 年 10 月号) では 3 篇、第 2 号 (2020 年 3 月号) では 6 編、計 9 篇の投稿があった。投稿者は、学部教員延べ 12 名、外部からの参加者 6 名だった。

第 1 号

- 【論文】 大藪 敏宏 「国家の偶然性と理性性—社会契約説と家産国家論へのヘーゲル哲学の二正面作戦—」
- 【研究ノート】 相山 馨 「介護殺人にみる高齢者支援の課題—支援者の視点を通して—」
佐部利典彦 「創造的で想像的な学び レッジョ・エミリア教区について—現地レポートをもとに—」

第 2 号

- 【論文】 大藪 敏宏 「国家権力の分立と国家主権の偶然性—カント的「実践理性の推論」とヘーゲル的「国民に相応しい政府」—」
- 金子 泰子 「3 歳児における投能力向上および性差の軽減を目指した「ボール投げ遊び」の実践について」
- 辻井満雄・氷見卓也・村田夏樹・宮腰真央・石垣孝太・井上真孝 「富山県の小学校教育におけるこれからのキャリア教育の展開に関する一考察」
- 福島美枝子 「図書・動画・映画から学ぶ教師の英語」
- 松山 友之 「子どもと自然を結ぶ授業実践のあり方に関する研究」
- 水上義行・稲寺秀邦・瀬戸健・村上満・大平泰子 「学校組織における管理職機能の強化と強力な教師集団組織化への提言」

(2) 助成研究への取り組み

①文部科学省学術研究助成基金（科学研究費補助金）～ 基礎研究（C）

- 相山 馨 「家族介護者ケアマネジメントツールの開発と包括的家族介護者支援システム」（新規：2019 年度～2021 年度）
- 大平 泰子 「デート DV の発生メカニズムの解明と個人特性に基づく予防教育プログラムの検討」（新規：2019 年度～2022 年度）
- 瀬戸 健 「教員や保育士等、実践側のニーズを踏まえた幼保小接続に関する意思決定過程の研究」（2019 年度まで継続）
- 水上 義行・瀬戸健・稲寺秀邦・村上満・大平泰子 「学校のパフォーマンスと教員のメンタルヘルスに関する実証的研究」（2019 年度まで延長）

②(財) 富山第一銀行奨学財団助成研究

- 辻井 満雄 「小学校教育におけるキャリア教育の展開—6 年間を見通した計画の在り方」
- 川崎 美香 「富山県内における知的障害特別支援学校と放課後等デイサービスとの連携の在り方」

(3) 研究交流サロン及び FD 研修会（2020 年 2 月 12 日）

- 研究サロン： 佐部利典彦「創造的で想像的な学び」
金子 泰子「子どもの運動能力・体力向上へのアプローチ」

FD研修会： 松山 友之「 教職課程におけるマイクロティーチングの活用 」

(4) 「子ども育成学部創立 10 周年記念フォーラム」の実施（2019 年 8 月 3 日キラリホール）

学部創設 10 周年を記念し、「学校ってなんだろう」という主題で荏谷剛彦氏（オックスフォード大学教授）による講演が行われた。大学教員や研究者、教育、保育、福祉関係者、学生、高校生、一般の参加者等、多様で多数の参加があり、新潟、石川、福井、東京、広島等、県外からも多くの参加があった。講演後には荏谷氏とフロアとの討論が行われ、我が国の教育の特長や弱点、グローバル時代に活躍できる能力の育成などについて話し合われた。

(5) 学生の研究活動

2018 年度に設立した「富山国際大学子ども育成学部小学校教育研究学会」は、卒業生の有志を中核として各学年の連絡網作成とともに理事選出を行なった。2019 年 11 月 16 日に第 1 回の理事会を行ない、今後の活動について話し合った。2020 年 2 月 24 日に「第 2 回研究集会」を予定していたが、コロナ感染拡大の状況により延期となり、現在に至っている。

2. 課題

(1) 紀要の発行

学部紀要への投稿数は、2018 年度まで 11 篇から 24 編までの幅で推移し、平均は約 15 編だったが、2019 年度に初めて 10 篇を切った。2017 年度から 2019 年度までの変化を見ても減少傾向である。職場環境が教員の研究活動を発展しにくくしている可能性を真剣に精査し、環境改善を図る必要があるように思われる。殊に 10 月発行の第 1 号への投稿が少なく、第 2 号への投稿も決して多くない。多くの教員の意欲的な取り組みが見られるようになることが望まれる。2019 年度の特徴のひとつとして、外部の教員との共同研究が 2 編見られた。

(2) 研究助成の競争的資金獲得への取り組み

① 文部科学省学術研究助成基金（科学研究費補助金）

2019 年度に新規採用が 2 件あったのは大変喜ばしい。また、延長によって 2019 年度が最後の年となった水上氏他の研究は、文書によって研究成果が発表された。教員の意欲と研鑽に依って応募が可能となり、採用の可能性が出てくるので、学部紀要への投稿と同様に、各教員が研究に集中する時間が持てる職場環境であるのかどうかを精査する必要がある。現在は、担当科目数の標準化がなされていないため、各学期に 10 コマ以上担当となっている教員もいて、環境改善が必要である。

② (財)富山第一銀行奨学財団助成研究

学部紀要等で研究成果の公表が始まっており、地域社会への還元が期待される。

(3) 研究交流サロン及び FD 研修会

研究サロンは前年度に 1 回も実施されなかったため、これまで発表をしていない教員や新任の教員の積極的な発表が望まれたが、2019 年度には前年度の富山第一銀行奨学財団助成研究を行なった 2 名の教員の発表があり、さらに FD 研修会の枠組みで 1 名の研究発表もあり、大いに盛り上がった。専門の異なる教員同士の研究交流が、「子ども育成」を軸として集まっている学部の教員にとっていかに楽しく、有益なものになり得るかが示されていた。

(4) 学生の研究活動

「小学校教育研究学会」が卒業生の尽力で本格的に始動した。在校生は全体的に、県内のインターンシップ、小学校の理科や英語の授業での補助活動、地域の子ども達を対象にした学生主導の事業、ボランティア活動への参加等を通して、実践的な学びを深めている。

10. その他

1. 実績と現状

(1) 子ども育成学部学位記授与式

- ・ 第8期生 95名卒業：令和2年3月18日(水)10：00～、富山国際会議場3階ホール

(2) 令和元年度 富山国際大学・富山短期大学 幼稚園教諭免許状特例講座

認定こども園法改正・施行により、平成27年4月から、幼稚園教諭の普通免許状に係る所有資格の期限付特例が実施されていることに伴い、富山短期大学幼児教育学科との連携により開催し、8単位分を開講した。

- ・ 開講講座：「教職の意義等」(2単位)、「教職に関する制度的・社会的事項」(2単位)、「教育課程論」(2単位)「保育内容指導法及び教育方法・技術」(2単位)、「幼児理解」(2単位)
- ・ 開講期間：令和元年6月29日～令和元年12月15日の間の土・日曜日計16日間
- ・ 会 場：富山国際大学・富山短期大学 呉羽キャンパス
- ・ 受講生：16名

2. 課題

(1) 教具・備品、施設・設備等の故障・修繕の増加

特に近年は高額な空調設備機器の故障が目立つようになってきており故障についてはその都度修理更新対応している。また、特に教室設置型のプロジェクターは平成30年度中に全て部品供給補償期間が終了したことから、今後更新が必要となる。

(2) 学生数増加に伴う教室不足とその対応。ロッカー等のアメニティー空間、学習環境の整備

(3) 食堂(G館)のWi-Fi環境整備

(4) 呉羽キャンパス各機関との各種調整(時間割、施設使用、行事日程等)

11. 将来構想

1. 実績と現状

(1) 子ども育成学部アクションプランの策定

- ① 全学のアクションプラン（H30～）に対応した取り組み
平成30年度からのアクションプランの策定が行われ、具体的な活動計画（5カ年計画）に沿って取り組んだ。
- ② 子ども育成学部の各部署の新規・重点事項の設定
アクションプランに呼応しつつ、学部内の各部署の新規・重点事項の設定について検討を行う必要がある。

(2) アクションプラン等の整合性

令和元年度は、新教育課程及び新保育者養成課程の展開に取り組んだ。

- ① 令和元年度新教育課程及び新保育者養成課程の実施1年目
改革された新教育課程による授業に取り組んだ。
- ② 学生支援の充実
学友会・サークル活動・同窓会活動など学生支援を強化してきた。特に、陸上サークルを陸上部にした。
- ④ キャリア支援の充実・体系化
必修科目「キャリア入門講座」、選択科目「キャリア支援講座Ⅰ」、「キャリア支援講座Ⅱ」、「キャリア支援講座Ⅲ」となり、すべての学年で正規科目として実施して2年目となった。それぞれの分野で、教員が工夫・改善を行い充実させてきた。
- ⑤ 研究・交流事業（子ども育成研究交流センター）の強化
平成31年3月に小学校分野の学内学会が設立され、研究会が新型コロナウイルスの感染防止のため中止になった。今後、研究の継続をする必要がある。また、保育分野、福祉分野での学会設立に向けた支援強化が必要である。
- ⑥ 実習環境の整備
実習事務担当者の配置は、困難な状況が続いており、未達成である。短大との協議をしたが、配置に向けて難しい状況である。実習協力園の確保については、「幼稚園教育実習Ⅰ」の学外実習協力園は、免許取得の必修から選択に切り替えたことより、確保できている。

(3) 「子ども育成学部の教育課程」の一部変更

- ① 新教職課程の実施委（平成31年度開設・再課程認定）
平成28年11月に教職免許法の改正により、平成31年4月より新教職課程を開設した。
また、平成29年5月より、厚生労働省において、「保育士養成課程等検討会」が設置され、保育を取り巻く社会情勢の変化、保育所保育指針の改定を踏まえ、より実践力のある保育士の養成に向けて、平成31年度より保育士養成課程が見直しされることになり、

具体的に見直しの方向性として「乳児保育の充実」、「幼児教育を行う施設としての保育の実践」、「養護の視点を踏まえた実践力の向上」、「子どもの育ちや家庭への支援の充実」、「社会的養護や障害児保育の充実」、「保育者としての資質の専門性の向上」が示されたことを受け、科目の新設・変更、保育士養成課程科目の見直しを行い、平成 31 年 4 月 1 日より新教育課程を開設した。

2. 課題

(1) アクションプラン等の実施と PDCA サイクル化

アクションプラン（全学・学部）と、それとの関連で学部各部門の行動計画や重点的に取り組む事項についても、確実に実施して PDCA サイクル化していかなければならない。

(2) 学園創立 50 周年以降の中長期的構想

本学園は、昭和 38 年に地域密着型の学園（旧・学校法人富山女子短期大学）として設立された。創立 50 周年の平成 25 年以降の経営戦略・計画は不透明であったが、少子化を見越して、学園全体の将来構想の中・長期的な検討が行われた。それを受けて、検討部会が設立され、計画の協議が始まった。

(3) 子ども育成学部の中長期的構想

教職課程と保育士養成施設の保育士養成課程が開設されたので、学生が質のよい学修ができているか状況を把握しながら、工夫・改善に向けて検討し始めた。